

## スタードームまどかに行こう



### 市民星空観望会 春と夏の代表星



西の空に傾いた春の大三角と東の空からのぼってきた夏の代表星。春と夏を代表する星たちを見比べよう。南の空には月やさそり座もいます。

- 日時 7月9日(土) 午後8時～9時40分
- 内容 ◇春と夏の星の観測◇月の観測



### 季節イベント 七夕



短冊に願い事を書いたら、「おりひめ」と「ひこぼし」を望遠鏡でのぞいてみよう。西の空には半月も輝いています。

- 日時 7月7日(木) 午後7時半～8時50分
  - 内容 ◇夏の星の観測◇月の観測◇工作
- ※参加者多数の場合は、入場を制限することがあります。



※中学生以下は保護者同伴

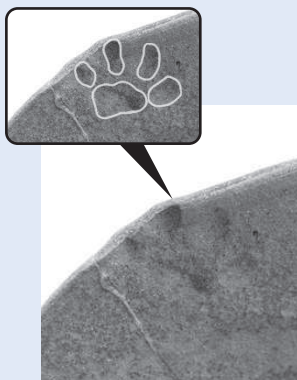
※雨天曇天時は、室内おはなし会になります。

- 会場 北コミュニティセンター スタードームまどか
- 問い合わせ先

北パートナーシップ活動支援センター（北コミュニティセンター内） ☎(513)0099

この調査でたくさんさんの奈良時代の土器が出土しましたが、その中に何やら動物の足跡らしきものが残っている須恵器の蓋が見つかりました。調べてみると、肉球の形や爪痕が無いことから、爪をひっこめて歩く猫の足跡である可能性が高いと分かりました。当時、土器作りの職人たちが庭先で乾かしていた半乾きの土器の上を、猫が踏んづけて行ったのでしょうか。職人が猫好きだったのか、作り直す時間がなく、多少ゆがんでいても仕方ないと思ったのか、この蓋はそのまま焼かれました。

●問い合わせ先  
心のふるさと館文化財担当  
☎(558)2206



蓋に刻まれた足跡

このような足跡のついた土器の出土は案外珍しく、現在全国でも4例ほどしかありません。この珍しい奈良時代の猫の足跡の付いた土器は、心のふるさと館で11月ごろまで展示します。実物を目に見してみませんか。

### 発掘調査〈 猫の手を借りた須恵器(天神田遺跡)

今回紹介する天神田遺跡は水城の西門近くで、平野に向かって突き出た小高い山の上にある遺跡です。ここからは博多湾が見渡せ、水城が築かれた頃は、見張り所のような施設が置かれたと思われれます。ここの地名の「矢倉」はその名残かもしれません。

いつの時代が大陸から渡ってきてかわいがるようになったようです。平安時代の物語には黒猫をかわいがる話が登場します。私は仏教が伝わったとき経典がネズミにかじられないように一緒に連れてこられた説が面白いと思いますが、最近の猫はネズミの取り方も忘れ、かわいがることに専念しているようです。

### 調査担当者が語る！大野城発掘物語

あけてみよう！

## 歴史のとびら

153

